
2020年3月期 第3四半期 決算プレゼンテーション資料



アコム株式会社

<https://www.acom.co.jp/corp/ir/>

2020年1月30日



決算概要

(単位:百万円、%)	連結					単体				
	2019/12		2020/3			2019/12		2020/3		
	実績	yoy (※1)	計画	yoy	進捗率	実績	yoy	計画	yoy	進捗率
<業容>										
1 営業債権残高	2,328,423	0.6	2,345,400	0.5		1,967,345	2.1	1,989,200	2.3	
2 ローン・クレジットカード事業	907,529	3.8	918,000	3.7		907,529	3.8	918,000	3.7	
3 信用保証事業	1,219,170	1.4	1,233,600	1.8	-	1,059,815	0.7	1,071,200	1.2	-
4 海外金融事業	192,676	-15.3	184,400	-18.9		-	-	-	-	
5 EASY BUY	192,409	6.5	184,200	2.9		-	-	-	-	
<業績>										
6 営業収益	208,986	1.0	275,500	-0.6	75.9	155,107	1.6	205,200	0.8	75.6
7 ローン・クレジットカード事業	112,189	2.9	147,400	1.8	76.1	112,189	2.9	147,400	1.8	76.1
8 信用保証事業	51,052	-1.1	68,500	-1.2	74.5	42,866	-1.8	57,700	-1.8	74.3
9 海外金融事業	41,773	-0.6	54,200	-4.9	77.1	-	-	-	-	-
10 EASY BUY	39,844	8.5	51,400	3.3	77.5	-	-	-	-	-
11 営業費用	133,616	0.2	187,900	-14.4	71.1	100,339	3.1	141,500	-16.8	70.9
12 金融費用	6,364	-26.2	8,500	-24.8	74.9	3,488	-19.9	4,800	-14.6	72.7
13 貸倒関連費用	59,149	4.0	82,800	9.0	71.4	45,309	5.3	63,700	11.9	71.1
14 利息返還費用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 その他の営業費用	68,102	0.4	96,600	4.2	70.5	51,540	3.2	73,000	7.4	70.6
16 営業利益	75,370	2.4	87,600	52.1	86.0	54,768	-1.1	63,700	89.4	86.0
17 経常利益	74,769	1.0	87,900	51.0	85.1	61,773	4.6	69,000	84.1	89.5
18 税金等調整前当期純利益	79,785	12.2	95,100	71.9	83.9	70,103	24.8	78,700	127.7	89.1
19 当期純利益	67,922	10.6	80,300	88.8	84.6	61,857	20.3	70,300	134.9	88.0
20 親会社株主に帰属する当期純利益(※2)	64,702	11.9	75,500	99.8	85.7	-	-	-	-	-

※1. “yoy”は前年同期比（次ページ以降も同様）

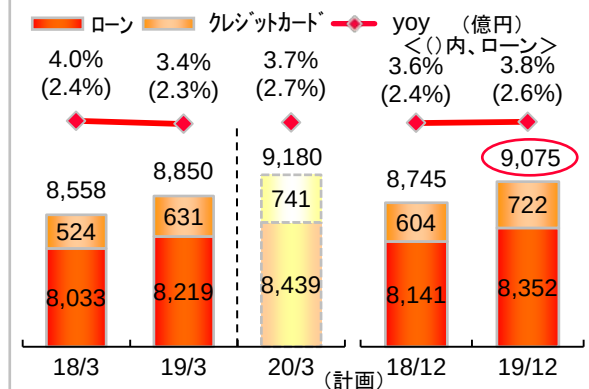
※2. BNP合併により、株式売却関連利益を1Qに計上。連結利益74億円、単体利益99億円



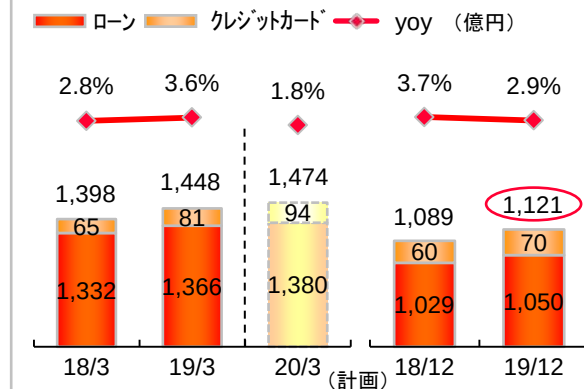
ローン・クレジットカード事業の概況(アコム)

- 営業債権残高：前年同期比+3.8%（前期末比+2.5%）の9,075億円
- 営業収益：営業貸付金利息、クレジットカード収益が増加し、同+2.9%の1,121億円
- 営業利益：貸倒関連費用の増加等により、同▲3.3%の380億円

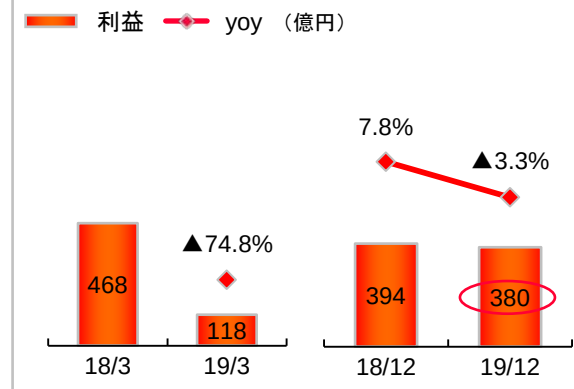
営業債権残高



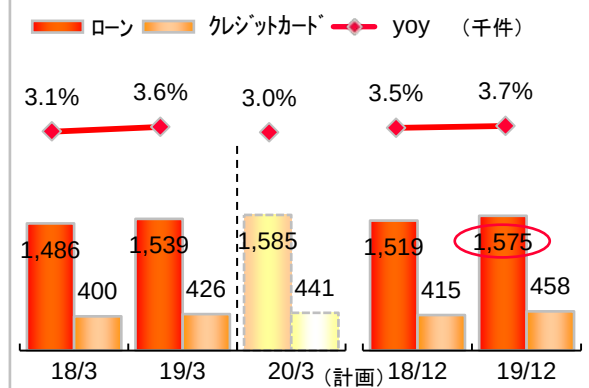
営業収益



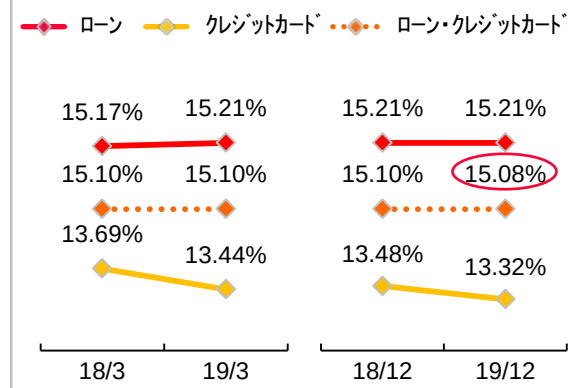
営業利益



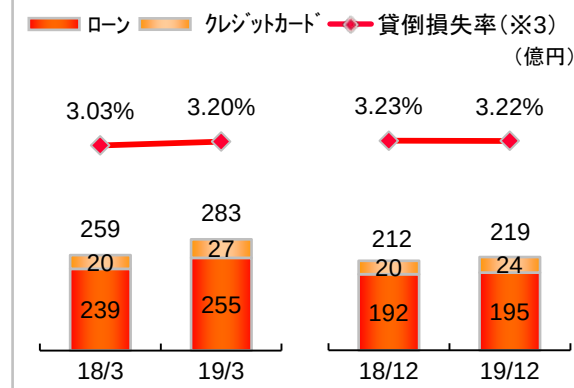
口座数



期中平均利回り(※1)



貸倒損失額・損失率(※2)



※1. クレジットカードにおける利回りは、リボルビングにおける残高と手数料より算出

※2. 貸倒損失額及び損失率は、利息返還請求に起因する債権放棄分を除く

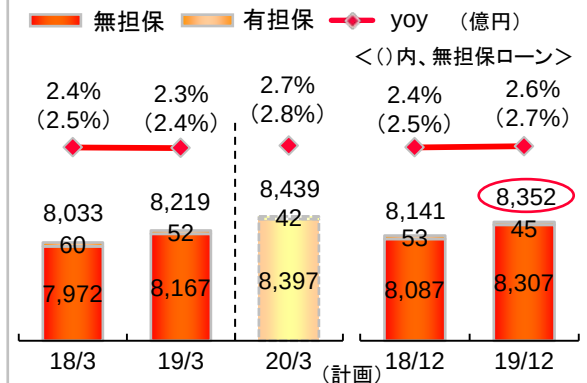
※3. 貸倒損失率の2018/12及び2019/12は年率換算



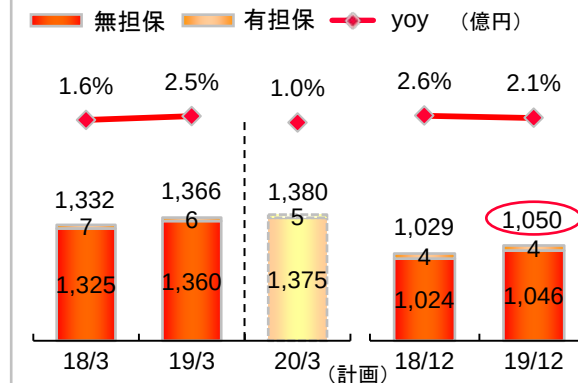
ローン事業の概況(アコム)

- 営業貸付金残高：前年同期比+2.6%（前期末比+1.6%）の8,352億円
- 営業収益：業容拡大により、同+2.1%の1,050億円
- 新客数：同+4.9%の197千件と順調に推移

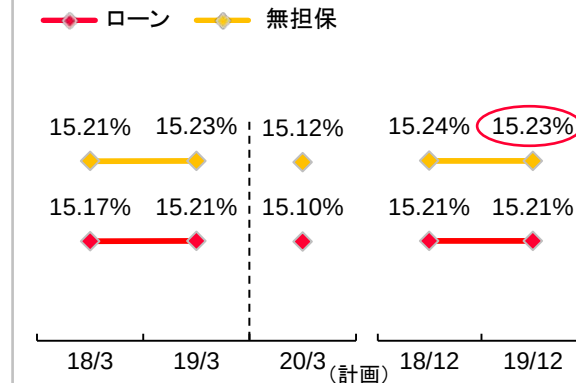
営業貸付金残高



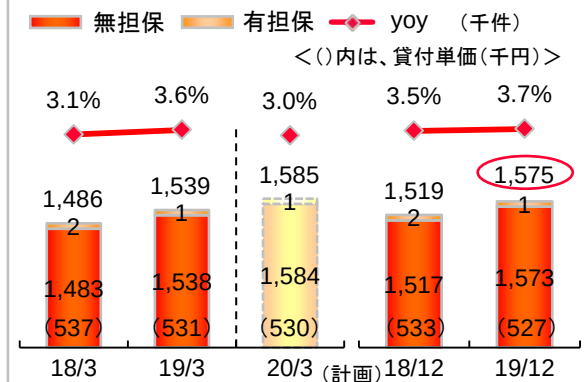
営業収益



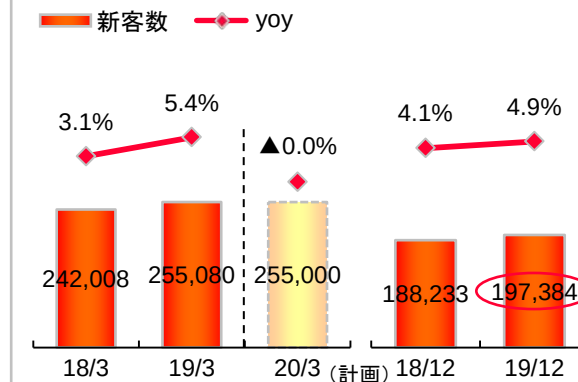
期中平均利回り



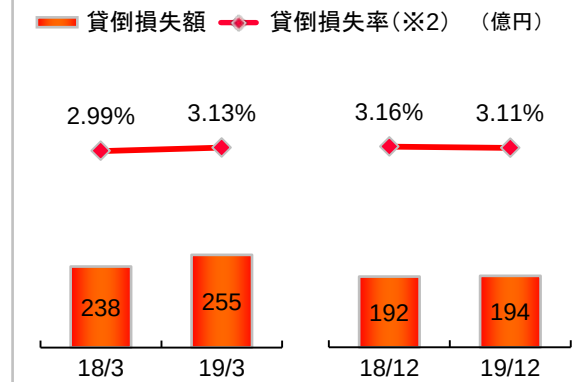
口座数



新客数(無担保)



貸倒損失額・損失率(無担保)(※1)



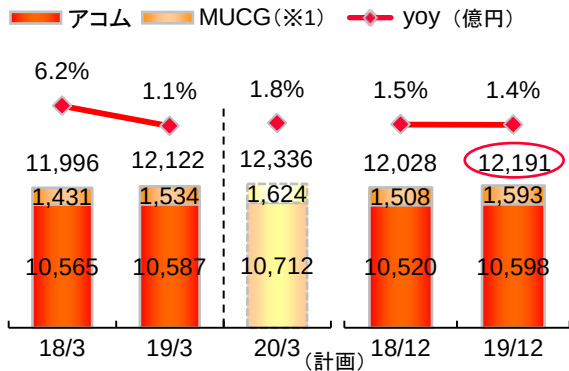
※1. 貸倒損失額及び損失率は、利息返還請求に起因する債権放棄分を除く

※2. 貸倒損失率の2018/12及び2019/12は年率換算

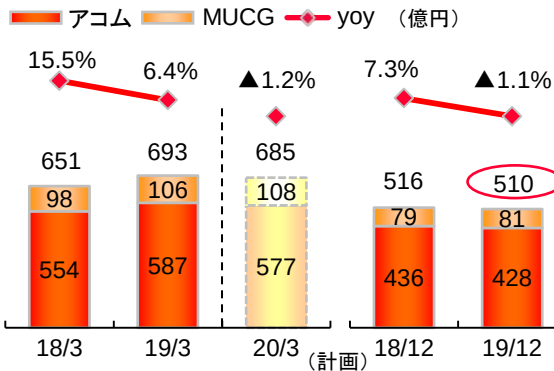
信用保証事業の概況(アコム、エム・ユー信用保証)

- 信用保証残高：前年同期比+1.4%（前期末比+0.6%）の12,191億円
- 営業収益：保証料率の見直しにより、同▲1.1%の510億円
- 営業利益：貸倒関連費用の減少等により、同+6.2%の197億円

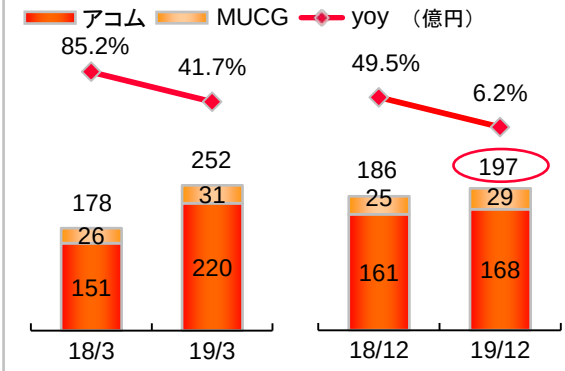
信用保証残高



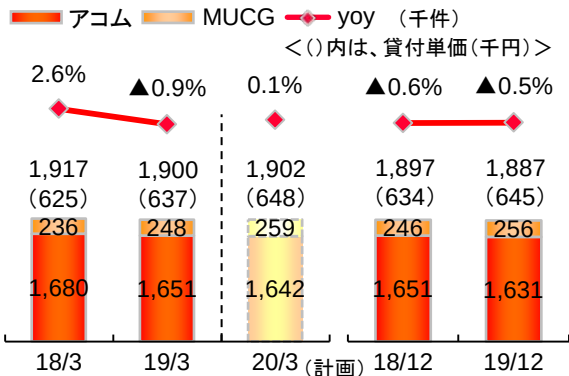
営業収益



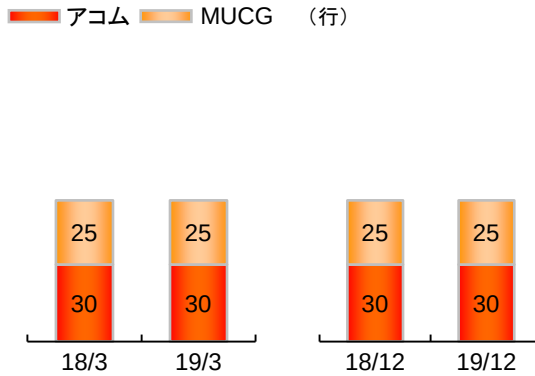
営業利益



口座数



提携先数(※2)



提携カバーエリア

全国47都道府県中
41都道府県をカバー



※1. MUCGとは、エム・ユー信用保証株式会社

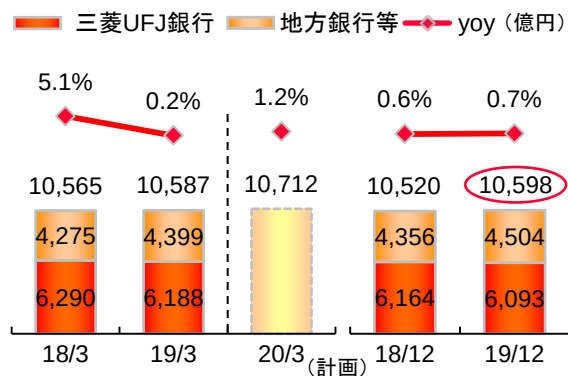
※2. 提携先数は、アコムとMUCGで3行重複



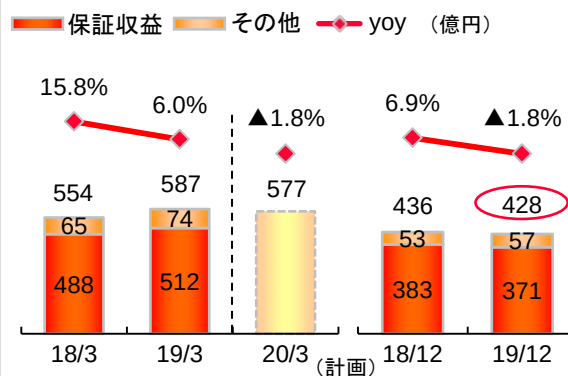
信用保証事業の概況(アコム)

- 信用保証残高：前年同期比+0.7%（前期末比+0.1%）の10,598億円
- 営業収益：保証料率の見直しにより、同▲1.8%の428億円
- 営業利益：貸倒関連費用の減少等により、同+4.4%の168億円

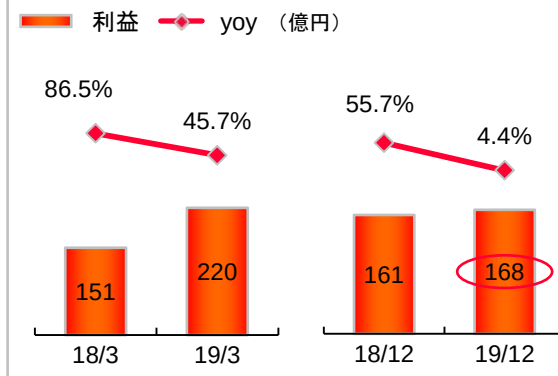
信用保証残高



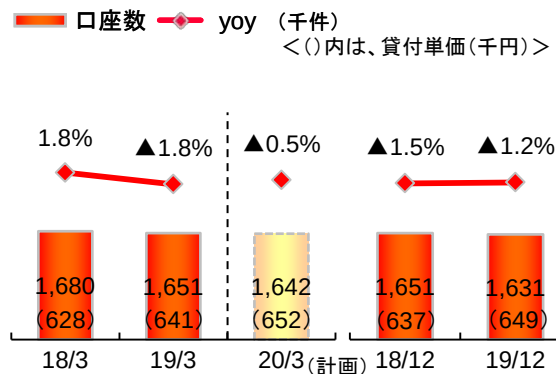
営業収益



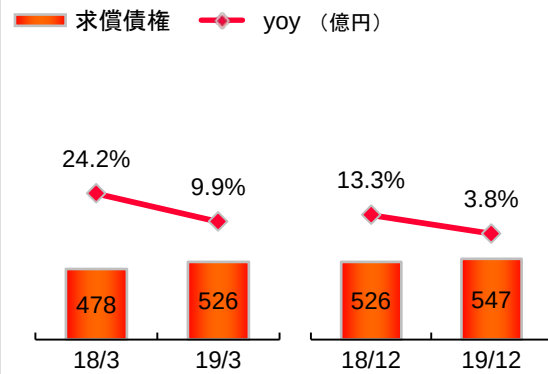
営業利益



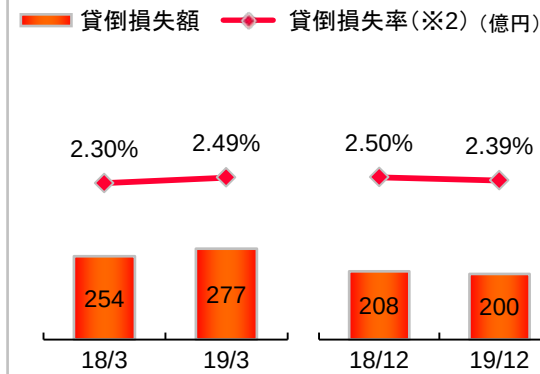
口座数



求償債権残高(※1)



貸倒損失額・損失率

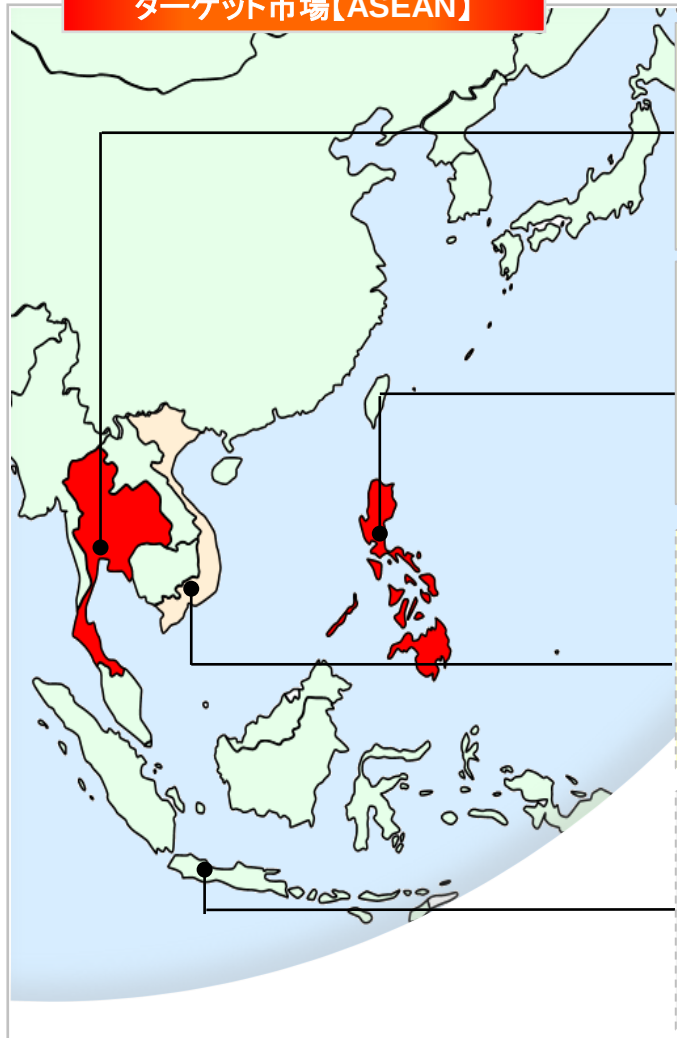


※1. 求償債権残高とは、保証履行未償却債権残高
 ※2. 貸倒損失率の2018/12及び2019/12は年率換算



海外金融事業のターゲット市場

ターゲット市場【ASEAN】



【タイ王国】

【EASY BUY Public Company Limited】

出 資 比 率：71.00%

設 立 年 月：1996年9月

事 業 内 容：無担保ローン事業、
インストールメントローン事業

- 債権健全化を経営の最重要課題に置きながら、積極的に営業を展開
- 新規契約件数は堅調に推移

【フィリピン共和国】

【ACOM CONSUMER FINANCE CORPORATION】

出 資 比 率：80.00%

設 立 年 月：2017年7月

事 業 内 容：無担保ローン事業

- 2018年7月より事業開始
- メトロマニラ圏で5店舗を開設
- 2022年3月期に単年度黒字を目指す

ライセンス申請中

【ベトナム社会主義共和国】

【ACOM VIETNAM FINANCE COMPANY LIMITED】

所 在 地：ホーチミン

資 本 金：6,000億ドン（約28億円）

出 資 比 率：100%

- 2014年5月に会社設立に係るライセンスを申請
- 2016年6月に同ライセンスを再申請
- 審査終了後、速やかに事業開始予定

連結除外

【インドネシア共和国】

【PT. Bank Nusantara Parahyangan, Tbk.】

出 資 比 率：67.59% ⇒ 0.00%

設 立 年 月：1972年1月(2007年子会社化)

事 業 内 容：銀行業

- 2019年5月、PT Bank Danamon Indonesia, Tbk.を存続会社として合併

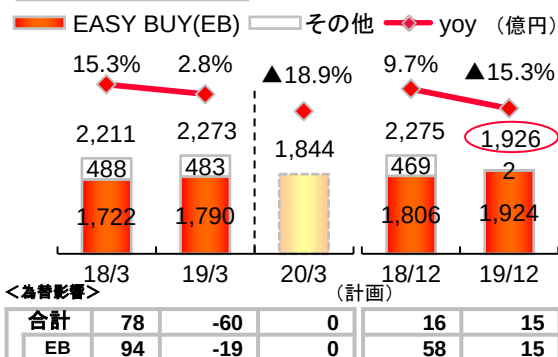


海外金融事業の概況

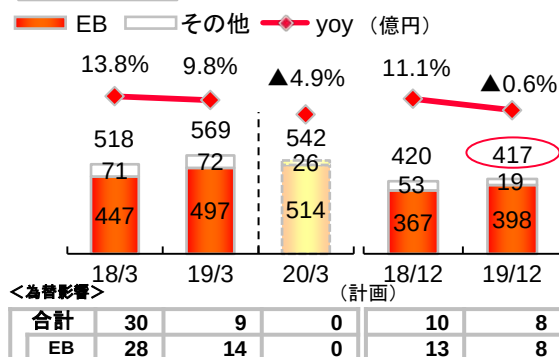
- 営業債権残高(連結)：前年同期比▲15.3%の1,926億円
- 営業収益(連結)：Bank BNPの連結除外により、同▲0.6%の417億円
- 営業利益(連結)：EASY BUYの金融費用の減少等により、同+13.7%の168億円

海外金融事業【円ベース】(※1)

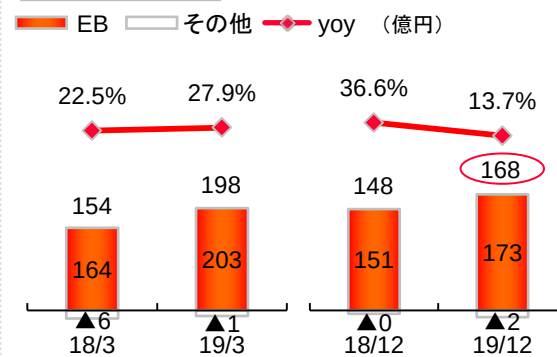
営業債権残高(※2)



営業収益

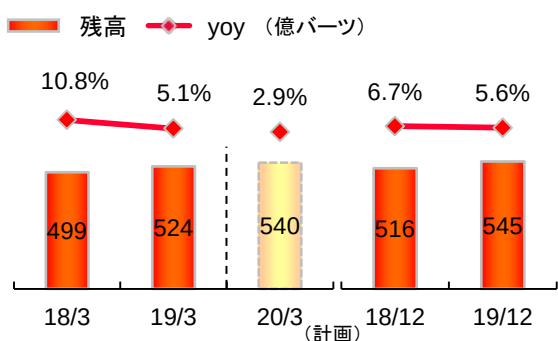


営業利益(※3)

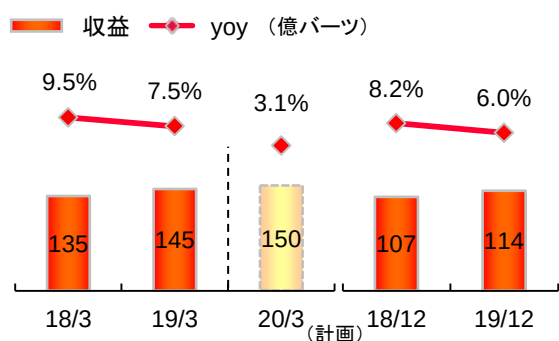


EASY BUY【現地通貨ベース】

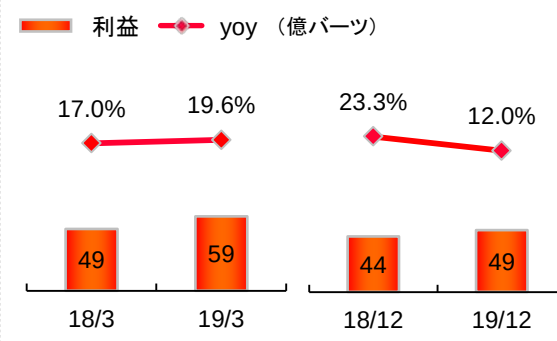
営業債権残高(※4)



営業収益



営業利益



※1. 為替レート: パーツ B/S: 3.50円 (18/9)、3.53円 (19/9)、計画 3.41円 (19/12) P/L: 3.41円 (18/9)、3.49円 (19/9)、計画 3.42円 (19/12)

(現地決算日) 第3四半期為替変動: パーツ (B/S yoy+0.03円 P/L yoy+0.08円)

※2. 営業債権残高 = 営業貸付金残高 + 割賦売掛金残高 + 銀行業貸出金残高

※3. 営業利益はセグメント利益を掲載 ※4. 営業債権残高 = 営業貸付金残高 + 割賦売掛金残高



利息返還請求件数の推移(アコム)

- 請 求 件 数 : 前年同期比▲8.3%の18,900件と期初の想定を下回って推移
- 期 末 予 想 : 2020年3月期の請求件数は、前期比▲20%を予想

●利息返還請求件数(※1)(※2)

(単位:件、%)

	2015/3		2016/3		2017/3		2018/3		2019/3			2020/3		
	利息返還 請求件数	yoy	利息返還 請求件数	yoy	利息返還 請求件数	yoy	利息返還 請求件数	yoy	利息返還 請求件数	yoy	1営業日 当たり	利息返還 請求件数	yoy	1営業日 当たり
合計	79,600	13.9	72,200	-9.3	60,700	-15.9	34,300	-43.5	27,100	-21.0	111	18,900	-8.3	103
4月	6,500	-3.0	6,500	0.0	5,500	-15.4	3,600	-34.5	2,400	-33.3	120	2,200	-8.3	110
5月	6,200	0.0	5,500	-11.3	5,600	1.8	3,400	-39.3	2,600	-23.5	123	2,100	-19.2	110
6月	6,600	17.9	6,400	-3.0	5,800	-9.4	3,400	-41.4	2,500	-26.5	119	2,300	-8.0	115
7月	7,100	16.4	6,100	-14.1	4,900	-19.7	2,800	-42.9	2,400	-14.3	114	2,300	-4.2	104
8月	5,900	28.3	5,300	-10.2	4,700	-11.3	2,500	-46.8	2,300	-8.0	100	1,900	-17.4	90
9月	7,800	32.2	6,600	-15.4	4,800	-27.3	2,800	-41.7	2,000	-28.6	111	2,000	0.0	105
10月	7,500	17.2	6,700	-10.7	4,600	-31.3	2,700	-41.3	2,400	-11.1	109	2,200	-8.3	104
11月	6,000	7.1	6,000	0.0	4,900	-18.3	4,100	-16.3	2,200	-46.3	104	2,000	-9.1	100
12月	6,300	14.5	5,800	-7.9	5,200	-10.3	2,300	-55.8	1,800	-21.7	94	1,900	5.6	95
1月	4,900	-2.0	4,700	-4.1	4,500	-4.3	2,000	-55.6	2,000	0.0	105			
2月	6,900	16.9	6,200	-10.1	5,200	-16.1	2,200	-57.7	2,200	0.0	115			
3月	7,900	23.4	6,400	-19.0	5,000	-21.9	2,500	-50.0	2,300	-8.0	115			

※1. 利息返還請求件数: 弁護士・司法書士受任債権発生件数の内、当社が利息制限法に基づいて再計算した結果、利息返還金が発生する件数

※2. 利息返還請求件数には再受任分を含む



利息返還損失の推移(アコム)

●利息返還損失引当金

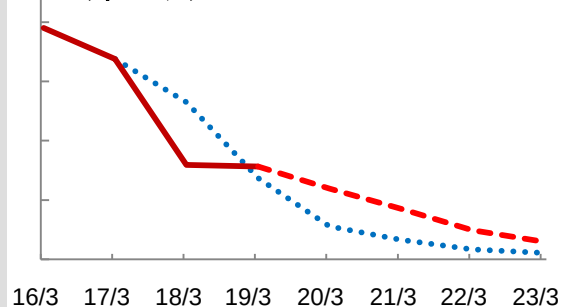
(単位:百万円、%)

		2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3						2020/3				
						1Q	2Q	3Q	4Q	累計	yoy	1Q	2Q	3Q	累計	yoy
	取崩額	71,359	69,238	68,828	60,831	9,844	11,030	10,448	9,923	41,248	-32.2	8,058	8,933	8,805	25,797	-17.6
	利息返還金	58,803	57,600	58,852	53,470	8,738	9,803	9,198	8,846	36,586	-31.6	7,210	7,975	7,802	22,988	-17.1
	<参考> 利息返還金 (キャッシュアウト)	59,183	57,147	58,917	53,014	9,808	9,378	9,778	8,841	37,807	-28.7	7,073	8,439	7,861	23,373	-19.3
	貸倒損失 (債権放棄)	12,556	11,637	9,975	7,360	1,105	1,227	1,250	1,077	4,661	-36.7	847	958	1,002	2,808	-21.6
	繰入額	49,859	56,638	143,728	-	-	-	-	39,479	39,479	-	-	-	-	-	-
引当金増減額		-21,500	-12,600	74,900	-60,831	-9,844	-11,030	-10,448	29,555	-1,768	-	-8,058	-8,933	-8,805	-25,797	-
期末引当金残高		102,600	90,000	164,900	104,068	94,224	83,193	72,744	102,300	-1.7	94,241	85,307	76,502		5.2	

請求件数の期初予測(2020年3月期)

(件数) 当初予測 ——— 実績 - - - 最新予測

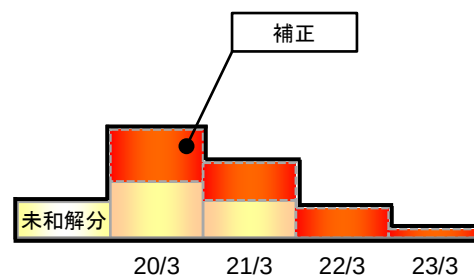
<イメージ>



期末引当金残高

<2020年3月期 期初予想:1,023億円>

<イメージ>



利息返還損失引当金のポイント

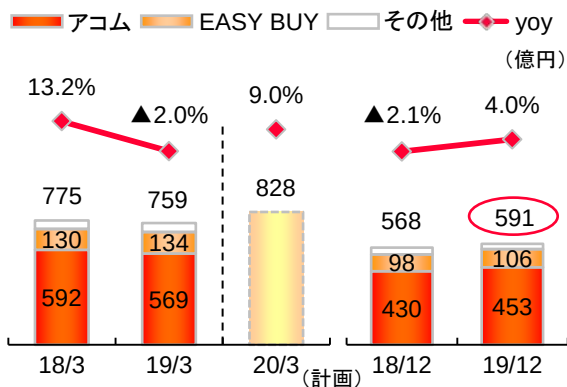
- ①前期末残高1,023億円から257億円を取崩し
・利息返還金229億円+債権放棄28億円
- ②当第3四半期における追加繰入はなし
- ③引当金残高は765億円
・2023年3月期までをカバー
- ④2020年3月期の取崩額は前期比▲15%から
▲20%を予想



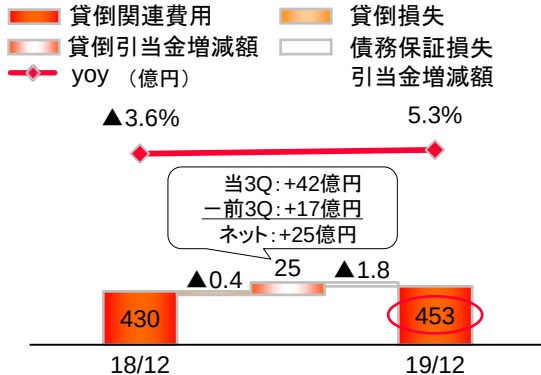
貸倒関連費用

- 貸倒関連費用(連結)：貸倒引当金増減額の増加により、前年同期比+4.0%の591億円
- 貸倒損失額(アコム)：同▲0.4億円の420億円
- 不良債権(アコム)：不良債権比率は、同+9bpsの7.26%

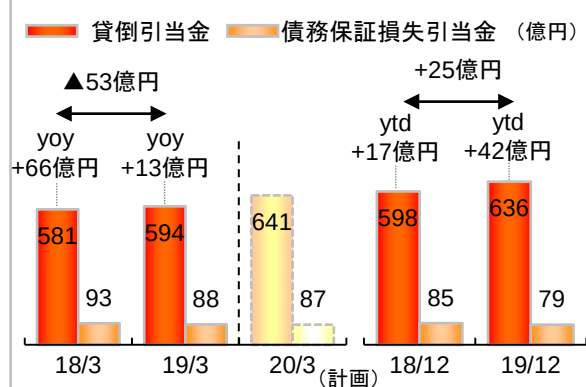
貸倒関連費用(連結)



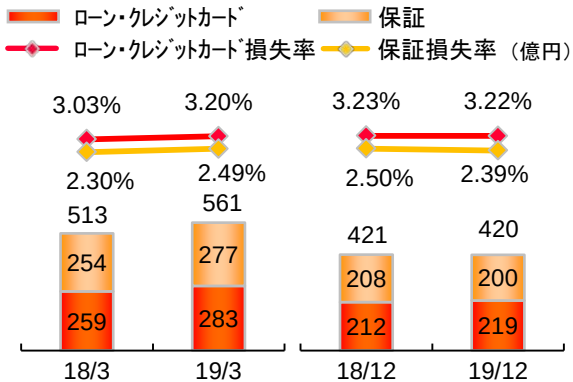
貸倒関連費用(アコム)



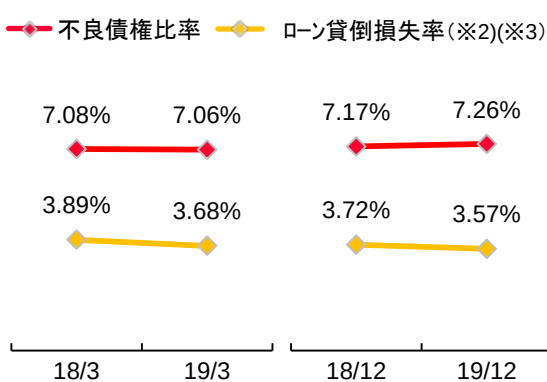
貸倒・債務保証損失引当金(アコム)



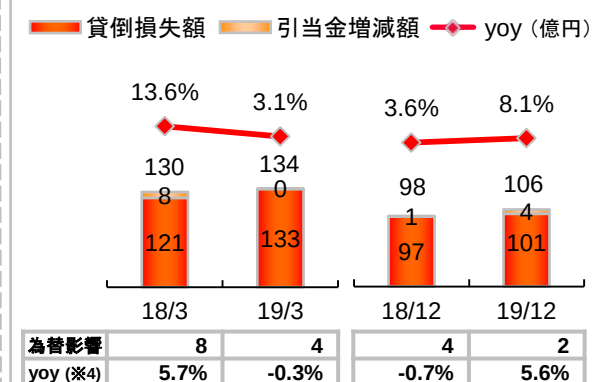
貸倒損失額・損失率(アコム)(※1)(※2)



不良債権・損失率(アコム)



<参考> 貸倒関連費用【EASY BUY】



※1. 貸倒損失額及び損失率は、利息返還請求に起因する債権放棄分を除く ※2. 貸倒損失率の2018/12及び2019/12は年率換算

※3. 貸倒損失率は、利息返還請求に起因する債権放棄分を含む

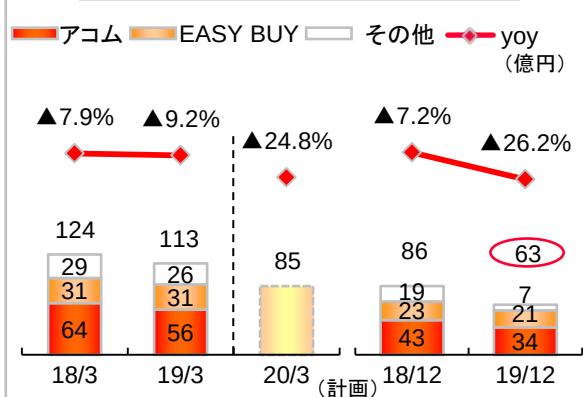
※4. 現地通貨ベースの前年同期比



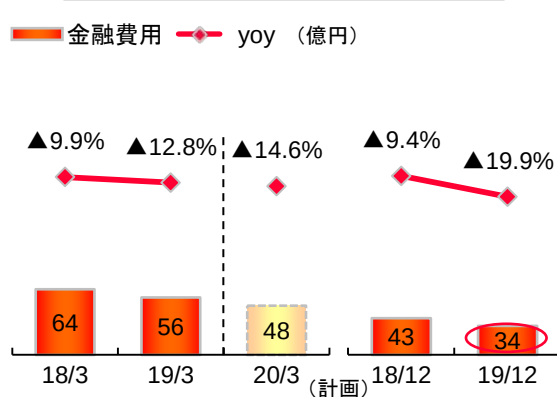
金融費用

- 金融費用(連結)：アコムの良好な調達環境の継続により、前年同期比▲26.2%の63億円
- 資金調達残高(アコム)：同▲45億円の6,173億円
- 期中平均調達金利(アコム)：安定した調達環境のもと、借入の入替が進み、同▲17bpsの0.75%

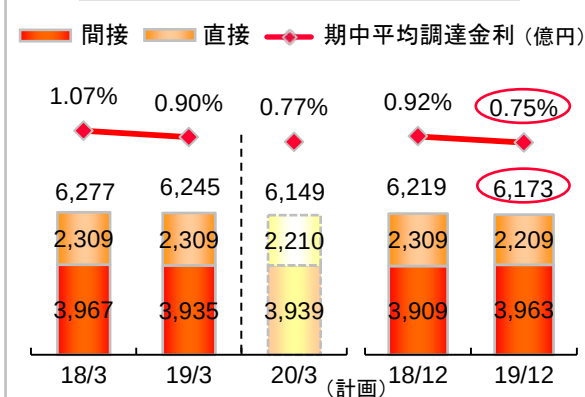
金融費用(連結)



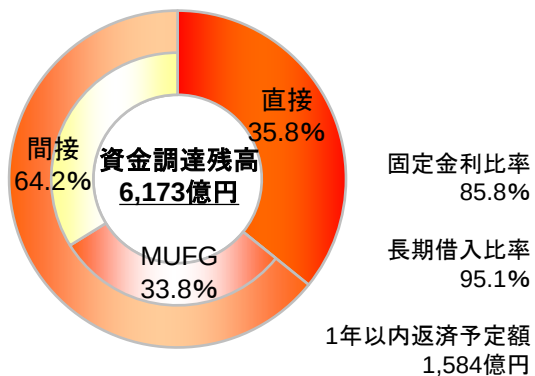
金融費用(アコム)



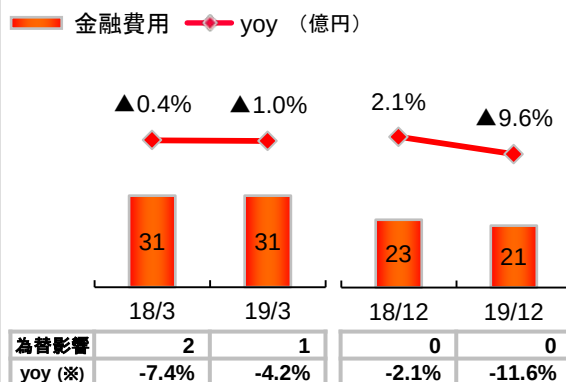
資金調達残高(アコム)



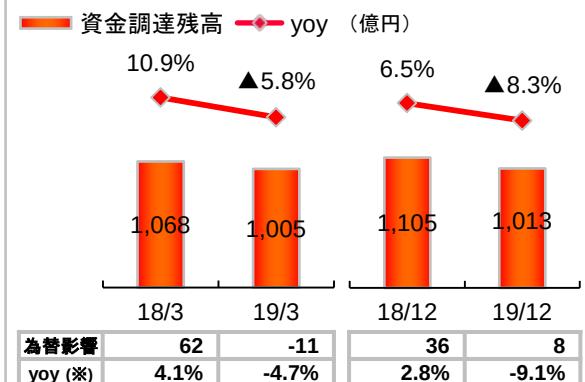
借入先別構成比(アコム)



金融費用(EASY BUY)



資金調達残高(EASY BUY)



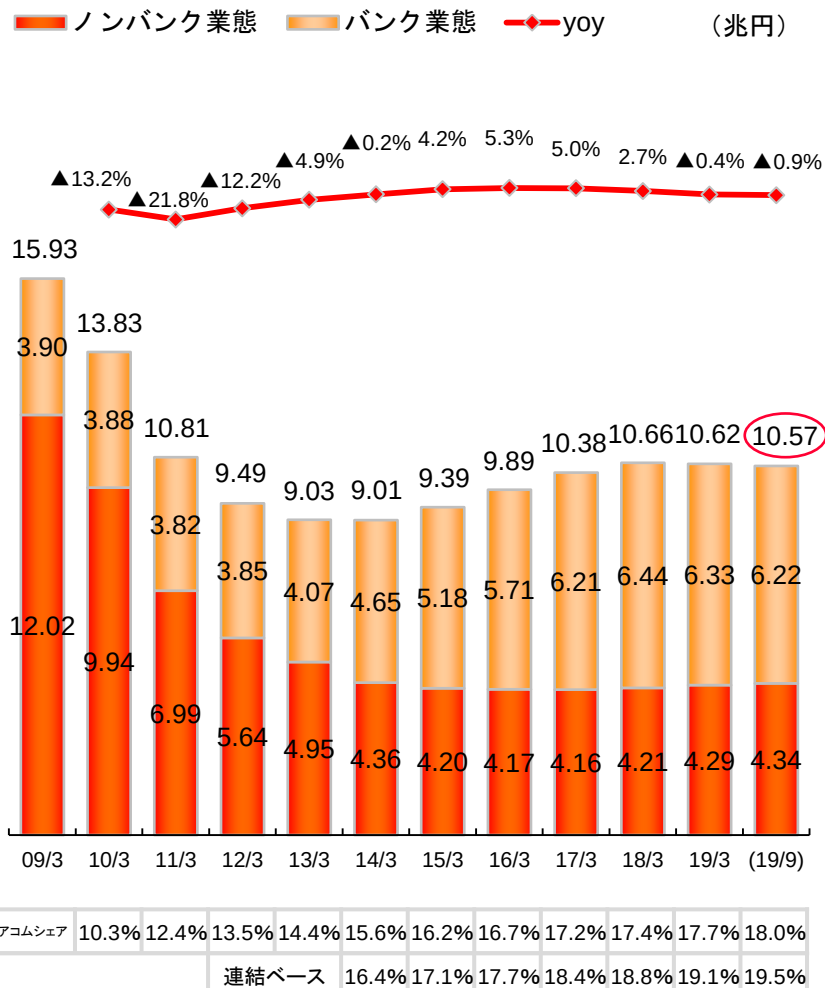
※ 現地通貨ベースの前年同期比

参考情報

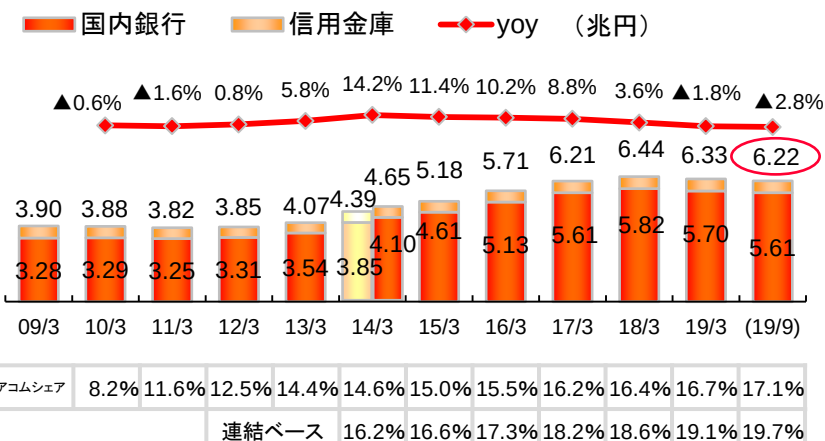


【参考】個人向けカードローン市場の規模推移

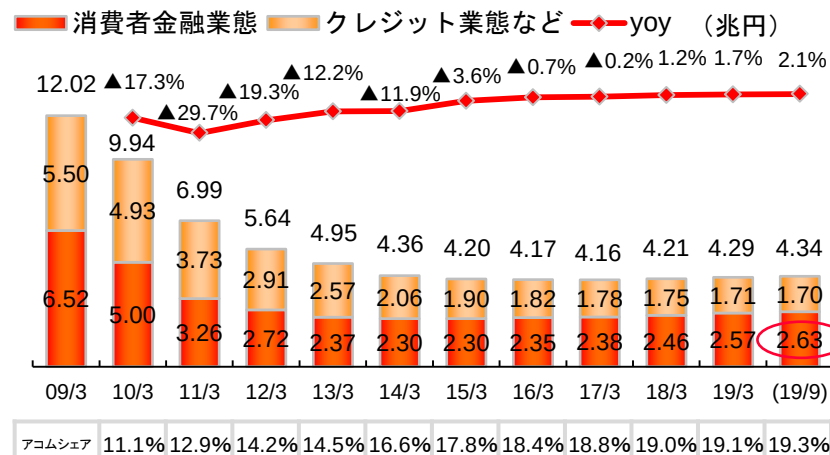
個人向けカードローン市場



バンク業態(※1)



ノンバンク業態(※2)



※1. バンク業態とは、日本銀行統計の国内銀行及び信用金庫の個人向けカードローン残高
(14/3のバンク市場残高は、2015年8月10日に日本銀行統計が訂正され0.26兆円増加)

※2. ノンバンク業態とは、日本貸金業協会統計の営業貸付金残高(証書貸付を含む)、日本貸金業協会統計の2019年9月数値は速報値



【参考】2020年3月期第3四半期 セグメント利益の概況

● 営業収益及びセグメント利益

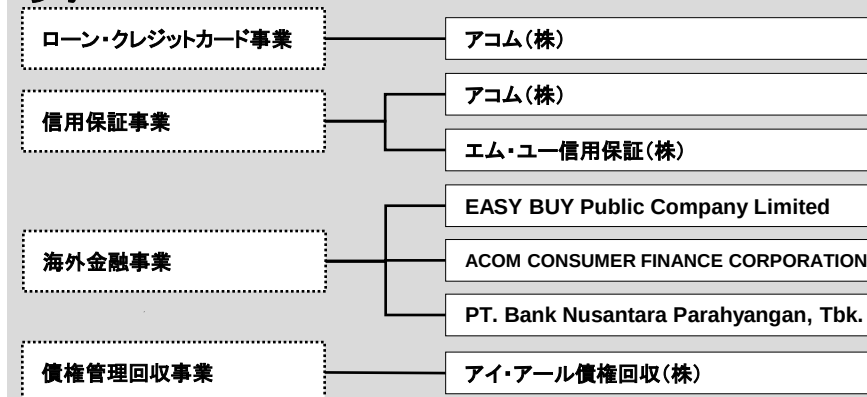
(単位:百万円、%)

	ローン・ クレジットカード 事業		信用保証事業		海外金融事業		債権管理 回収事業		計		その他	合計
		yoy		yoy		yoy		yoy		yoy		
営業収益	112,189	2.9	51,052	-1.1	41,773	-0.6	3,971	-7.6	208,986	1.0	51	209,038
外部顧客からの営業収益	112,189	2.9	51,052	-1.1	41,773	-0.6	3,971	-7.6	208,986	1.0	0	208,986
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	51
営業費用	74,089	6.5	31,279	-5.1	24,888	-8.4	3,458	-10.9	133,716	0.1	-	133,716
セグメント利益	38,099	-3.3	19,772	6.2	16,885	13.7	513	23.2	75,270	2.7	51	75,322

● セグメント利益及び連結営業利益の差額

利益	金額	yoy
セグメント利益	75,270	2.7
「その他」の区分の利益	51	-22.7
セグメント間取引消去	11	-74.2
親子会社間の会計処理統一等による調整額	37	-81.7
連結営業利益	75,370	2.4

<参考>

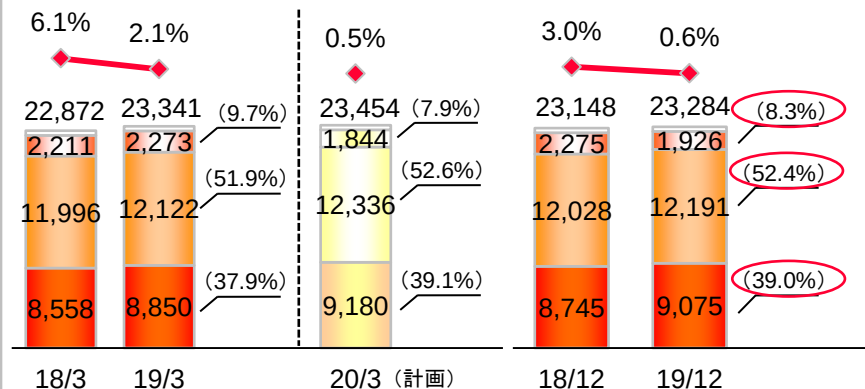




【参考】セグメント別構成比

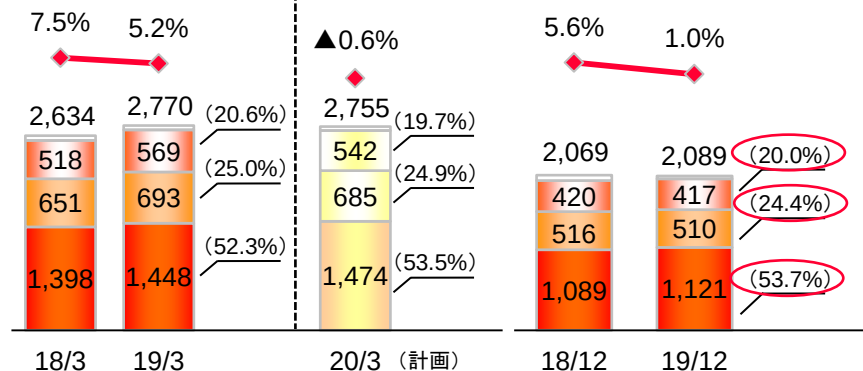
営業債権残高

■ L.C事業(※) ■ 信用保証事業 ■ 海外金融事業 ■ その他
◆ yoy ()セグメント別構成比 (億円)



営業収益

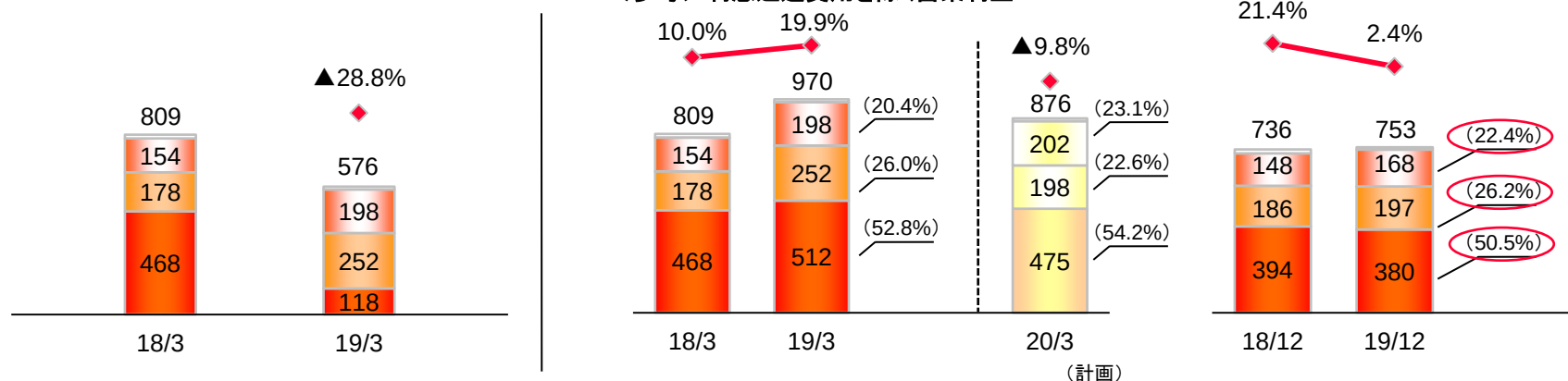
■ L.C事業 ■ 信用保証事業 ■ 海外金融事業 ■ その他
◆ yoy ()セグメント別構成比 (億円)



営業利益

■ L.C事業 ■ 信用保証事業 ■ 海外金融事業 ■ その他 ◆ yoy ()セグメント別構成比 (億円)

<参考> 利息返還費用を除く営業利益



※ L.C事業とは、ローン・クレジットカード事業



【参考】2020年3月期 通期計画

	(単位:百万円、%)	連結				単体			
		2019/3		2020/3		2019/3		2020/3	
		実績	yoy	計画	yoy	実績	yoy	計画	yoy
1	営業債権残高	2,334,192	2.1	2,345,400	0.5	1,943,841	1.6	1,989,200	2.3
2	ローン・クレジットカード事業	885,081	3.4	918,000	3.7	885,081	3.4	918,000	3.7
3	信用保証事業	1,212,255	1.1	1,233,600	1.8	1,058,760	0.2	1,071,200	1.2
4	海外金融事業(※1)	227,387	2.8	184,400	-18.9	-	-	-	-
5	EASY BUY	179,012	3.9	184,200	2.9	-	-	-	-
<業績>									
6	営業収益	277,069	5.2	275,500	-0.6	203,636	4.3	205,200	0.8
7	ローン・クレジットカード事業	144,826	3.6	147,400	1.8	144,829	3.6	147,400	1.8
8	信用保証事業	69,341	6.4	68,500	-1.2	58,729	6.0	57,700	-1.8
9	海外金融事業(※1)	56,984	9.8	54,200	-4.9	-	-	-	-
10	EASY BUY	49,751	11.1	51,400	3.3	-	-	-	-
11	営業費用	219,461	20.2	187,900	-14.4	170,000	27.3	141,500	-16.8
12	金融費用	11,310	-9.2	8,500	-24.8	5,619	-12.8	4,800	-14.6
13	貸倒関連費用	75,989	-2.0	82,800	9.0	56,907	-4.0	63,700	11.9
14	利息返還費用	39,479	-	-	-	39,479	-	-	-
15	その他の営業費用	92,681	0.2	96,600	4.2	67,994	0.2	73,000	7.4
16	営業利益	57,607	-28.8	87,600	52.1	33,635	-45.5	63,700	89.4
17	経常利益	58,205	-28.8	87,900	51.0	37,472	-42.8	69,000	84.1
18	税金等調整前当期純利益(※2)	55,334	-31.8	95,100	71.9	34,568	-46.8	78,700	127.7
19	当期純利益	42,523	-42.7	80,300	88.8	29,927	-52.6	70,300	134.9
20	親会社株主に帰属する当期純利益	37,781	-46.5	75,500	99.8	-	-	-	-

※1. 2019年4月にBNPが連結除外となったため、BNPの業容は計画に含めず、業績は4ヶ月分計上

※2. BNP合併による影響により、連結特別利益73億円、単体特別利益98億円を計画



【参考】配当状況

配当の基本的な考え方

- 業績、自己資本ならびに当社を取り巻く経営環境を勘案の上、安定的、継続的な利益還元を図り、株主還元の充実を目指す

2020年3月期第2四半期時点の状況

- 業績の状況
2020年3月期第2四半期の営業収益、営業利益は、中核3事業の業容拡大により、順調に進捗している
- 経営環境
利息返還請求は着実に減少しているものの、足許で、減少速度が鈍化していることから、引き続き、動向を注視していく
- 自己資本の状況
連結総資産に信用保証残高を加算して算出した自己資本比率は16.2%まで回復するものの、目標とする20%を下回っている

配当実績及び配当予想

- 2018年3月期に8期ぶりに復配。2019年3月期は年間2円。2020年3月期は年間4円の配当を予想。

	2018年3月期(実績)		2019年3月期(実績)		2020年3月期	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末
配当金	—	1円	1円	1円	2円	2円(予想)
	年間1円		年間2円		年間4円(予想)	

<参考>

自己資本比率(※)	連結	11.8%	13.0%	14.4%	14.2%	16.2%	—
	単体	12.3%	13.5%	15.0%	14.6%	16.5%	17.4%(計画)

※ 総資産に信用保証残高を加算して算出した自己資本比率



【参考】連結子会社の合併について

スケジュール

2019年1月

アコムの子会社であるBank BNP(消滅会社)と三菱UFJ 銀行が発行済株式総数の40.0%(当時)を保有するBank Danamonの合併計画を公表

2019年3月

アコムの取締役会においてBank BNPとBank Danamonとの合併計画について、賛成することを決議。また、Bank BNP株式に関しては、三菱UFJ銀行が実施するキャッシュオファーに応じ、全株式を売却することを合わせて決議

2019年5月

5月1日を効力発生日として、連結子会社Bank BNP(消滅会社)とBank Danamon(存続会社)が合併

合併の目的

MUFGグループとして、東南アジア最大のマーケットにおいてリテール・コマーシャル事業基盤を確立するため。また、Bank BNPの有するバンドンでの顧客基盤に対し、Bank Danamonの包括的なサービスが提供可能となるなど、グループとして多くの相乗効果が見込まれるため。

本合併による業績影響

Bank BNP株式売却による株主権の移転日が4月のため、会計基準に則り、株式売却による利益は2020年3月期決算に取り込む

株式売却関連利益

連結利益: 74億円

単体利益: 99億円

Bank BNPの概要

会社名: PT. Bank Nusantara Parahyangan, Tbk.

事業内容: インドネシア共和国における銀行業

営業収益: 18億円

営業利益: ▲0.3億円



【参考】中期経営方針、中期重点テーマ

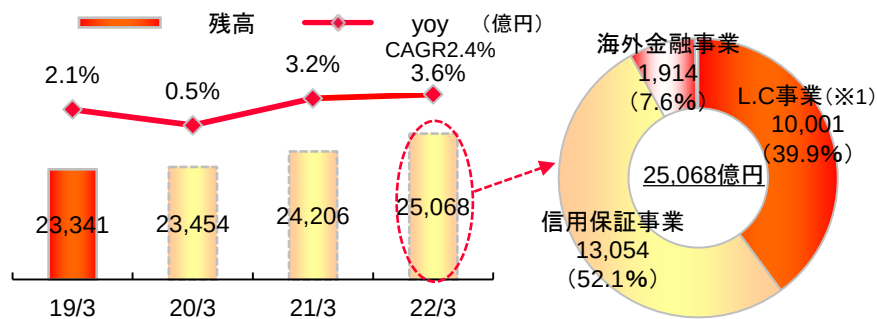
創業の精神	信頼の輪	
社名の由来	Affection（愛情） COnfidence（信頼） Moderation（節度）	
企業理念	アコムは人間尊重の精神とお客さま第一義に基づき 創造と革新の経営を通じて 楽しく豊かなパーソナルライフの実現と生活文化の向上に貢献する	
経営ビジョン	一人でも多くのお客さまに最高の満足を感じていただき 個人ローン市場において社会に信頼される「リーディングカンパニー」を目指す	
主たる事業 ドメイン	国内	ローン・クレジットカード事業、信用保証事業
	海外	ASEANにおけるローン事業
中期経営方針	環境変化にスピード感をもって対応し、持続的成長と企業価値の向上を図るとともに、 お客さまの期待を超えるサービスを創出する	
中期重点テーマ		事業戦略
① コンプライアンス・カルチャーの醸成 ② 採用・育成・定着の強化による人材基盤確立 ③ 与信・プロモーションの高度化による集客力向上 ④ 応対品質強化とデジタル化推進による良質な顧客体験の提供 ⑤ ローン・クレジットカード事業の持続的な業容拡大 ⑥ 信用保証事業における提携先との更なる連携強化	ローン・ クレジットカード事業	➢ 顧客ニーズの変化に適応した商品・サービスの提供 ➢ 安定した集客に向けた与信・プロモーション戦略
	信用保証事業	➢ 既存提携先との連携強化 ➢ 収益性の向上 ➢ 新規保証提携先の拡大
	海外金融事業	➢ ASEANを中心とした調査活動 ➢ 既存子会社の経営管理態勢の強化
⑦ 海外金融事業の基盤拡充 ⑧ 適正な債権保全の実現 ⑨ 環境変化への確に対応するためのIT態勢構築 ⑩ 業務改革による高品質・高生産性の態勢構築	機能戦略	
	デジタル／IT	➢ キャッシュレス社会に適応した「融資・決済」サービス ➢ 超即時審査の実現による良質な顧客体験の創出 ➢ 基幹システムのリノベーションの推進
	業務改革	➢ 業務改革推進体制の整備 ➢ RPAの全社展開



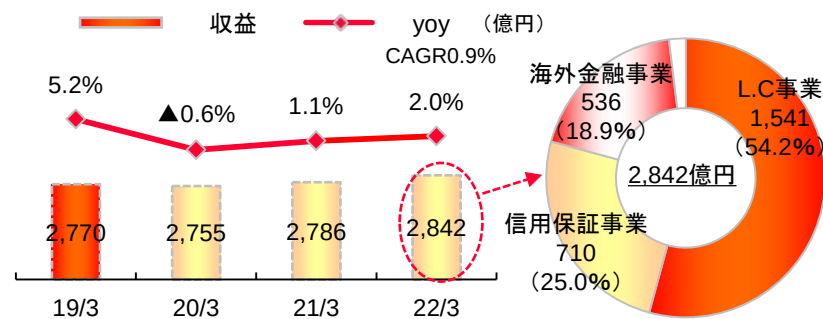
【参考】中期経営計画(2020/3 - 2022/3) 業容・業績

- 業容は中核3事業へのデジタル投資等により、2.5兆円を目指す。業績は増収増益を目指す
 - ・20年3月期：業容は、BNPの影響によりほぼ横這い。収益は、当該影響に加え、保証料率の低下により減収
 - ・21年3月期：業容は、順調に拡大。業績は、業容拡大により増収、増益
 - ・22年3月期：業容は、順調に拡大。業績は、更なる業容拡大により、成長率が加速

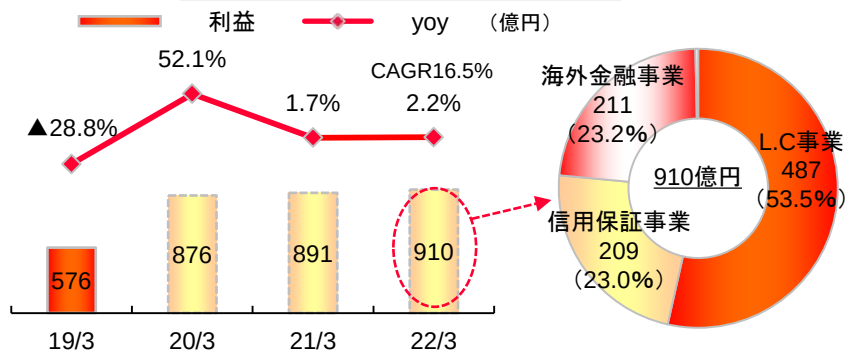
営業債権残高



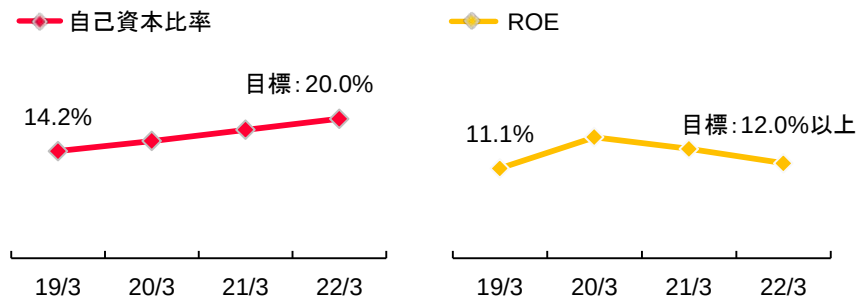
営業収益



営業利益



自己資本比率(※2)・ROE



※1. L.C事業とは、ローン・クレジットカード事業

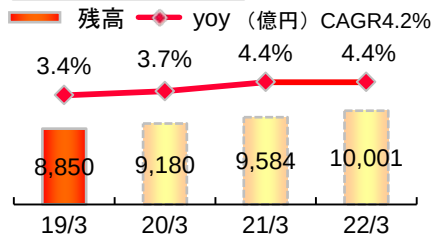
※2. 総資産に信用保証残高を加算して算出した自己資本比率



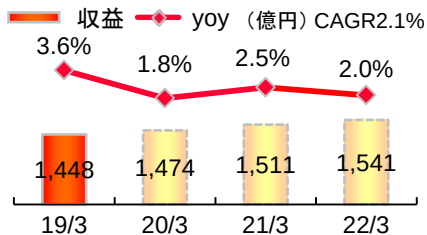
【参考】中期経営計画(2020/3 - 2022/3) 事業別業容・業績

ローン・クレジットカード事業

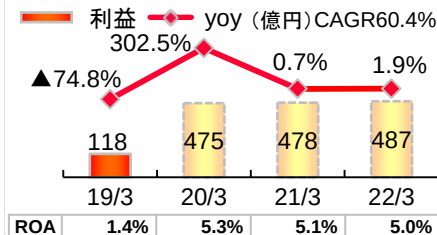
営業債権残高



営業収益



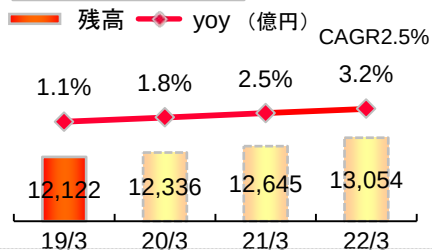
営業利益



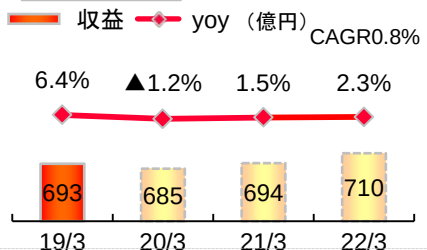
- ・残高は1兆円を目指す
- ・収益は1,541億円、利益は487億円を目指す

信用保証事業

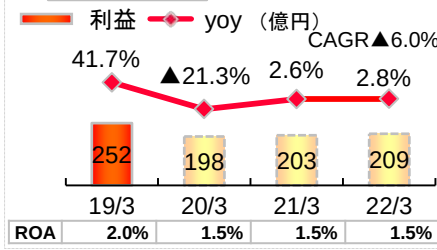
信用保証残高



営業収益



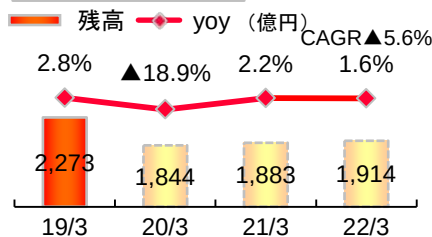
営業利益



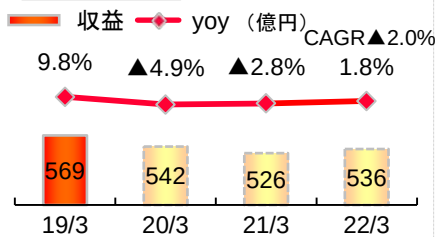
- ・残高は1.3兆円を目指す
- ・収益は710億円、利益は209億円を目指す
- ・20/3の収益は保証料率低下により減収

海外金融事業(※)

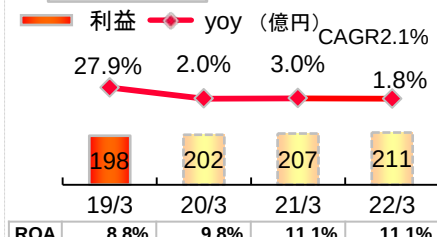
営業債権残高



営業収益



営業利益



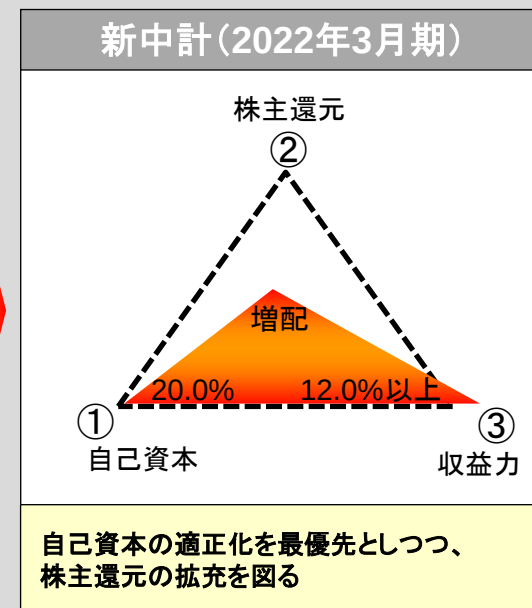
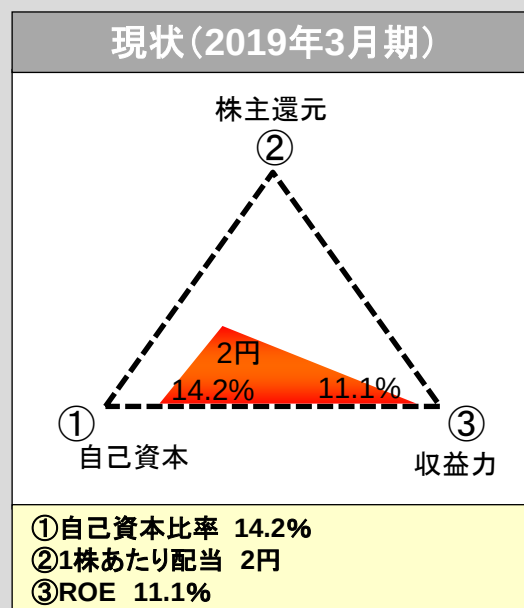
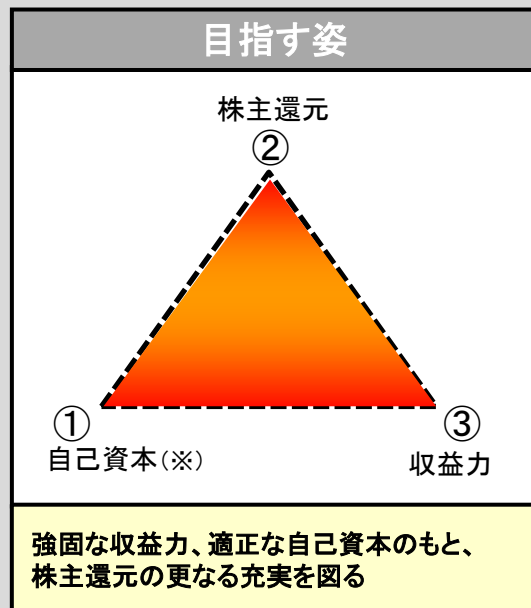
- ・残高は1,914億円を目指す
- ・収益は536億円、利益は211億円を目指す
- ・20/3の残高、収益は、BNPの影響によりマイナス成長

※ 2019年4月にBNPが連結除外となったため、BNPの業容は2020年3月期計画に含めず、業績は2020年3月期計画に4ヶ月分計上



【参考】資本政策

資本政策の基本的な考え方



配当の基本的な考え方

- 業績、自己資本ならびに当社を取り巻く経営環境を勘案の上、安定的、継続的な利益還元を図り、株主還元の充実を目指す

	2019年3月期(実績)		2020年3月期		2021年3月期 2022年3月期
	中間	期末	中間	期末	
配当金	1円	1円	2円	2円(予想)	増配を目指す
	年間2円		年間4円(予想)		

※ 総資産に信用保証残高を加算して算出した自己資本比率



本件照会先：広報・IR室

電 話 番 号 03(5533)0861

メールアドレス ir@acom.co.jp

免責事項

本資料の数値のうち、過去の事実以外のアコム株式会社の計画、方針その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点においてアコム株式会社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。

従いまして、かかる予想値は、リスクや不確定要因を内包するものであって、現実の業績は、諸々の要因により、かかる予想値と異なってくる可能性があります。

かかる潜在的なリスクや不確定要因として考えられるものとしては、例えば、アコム株式会社を取り巻く経済情勢や消費者金融を取り巻く市場規模の変化、債務不履行に陥る顧客の割合、「利息制限法」に基づく上限金利を超える部分の返還請求等の発生件数及び返還金額の変動、アコム株式会社が支払う借入金利率のレベル、法定制限利率が考えられますが、これらに限りません。